

高額療養費・医療保険料の制度が変わります

全ての方が安心して医療を受けられる社会を維持するために、世代間の公平が図られるよう、負担能力に応じたご負担をいただく必要があります。そのため、平成29年度から、以下の二つの制度が変更となります。皆様のご理解をお願いいたします。

1 高額療養費の上限額が変更になります

高額療養費とは、同じ月内に医療機関窓口で支払った医療費の合計額について、自己負担上限額を超えた額を払い戻す制度です。

平成29年8月より、後期高齢者医療保険加入者及び70歳以上の国民健康保険加入者の上限額が変わります。

適用区分 ^{※1}	外来(個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
現役並み 課税所得 145万円以上	H29.7まで 44,400円 ↓ 57,600円	80,100円 +(医療費-267,000円)×1% (多数回44,400円) ^{※2}
一般 課税所得 145万円未満	12,000円 ↓ 14,000円 (年間上限144,000円)	44,400円 ↓ 57,600円 (多数回44,400円) ^{※2}
住民税非課税 II 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
住民税非課税 I 住民税非課税世帯		15,000円

※1 どの適用区分に該当するかは、被保険者証、高齢受給者証または限度額認定証で確認できます。負担区分が「区分I」・「区分II」の人は限度額認定証をあらかじめ住民課で申請してください。
※2 過去12か月以内に3回以上、上限額に達した場合は4回目から「多数回」該当となります。



CHECK
平成29年8月より、後期高齢者医療保険証の色が**橙色**から**水色**に変更されますので、ご注意ください。

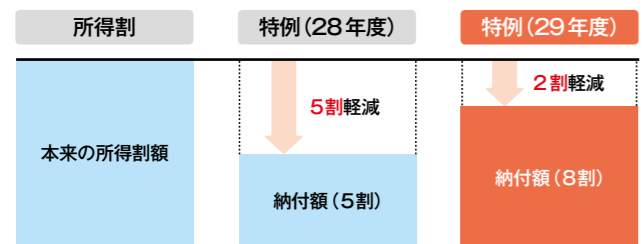
2 後期高齢者医療保険料の軽減率が変わります

75歳以上の人(後期高齢者医療保険加入者)の保険料は

- ①年収に応じて納めていただく部分(所得割)と
- ②全員に納めていただく定額部分(均等割)

があります。平成29年度から、条件に該当する場合は保険料の軽減率が変わります。今年度の保険料は7月中旬に送付される保険料額決定通知書でご確認ください。

1 年収約153~211万円の人 所得割の額が変わります

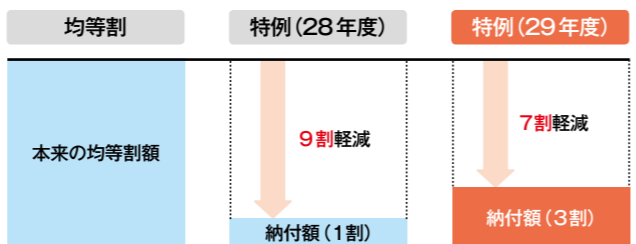


平成28年度までの所得割は、特例的に5割軽減されていましたが、平成29年度は2割軽減になります。均等割の定額部分は変わりません。

2 元被扶養者で、条件に該当する人 均等割の額が変わります

条件に該当する可能性のある人

75歳になる前日まで家族の会社の健康保険の被扶養者であり、単身で年金収入が168万円を超える人、または75歳以上の夫婦2人世帯で片方の収入が168万円を超える人は該当する場合があります。詳しくは住民課まで。



平成28年度までの均等割は、特例的に9割軽減されていましたが、平成29年度は7割軽減になります。ただし元被扶養者であっても、世帯の所得が低い人は均等割の軽減(9割軽減、8.5割軽減)が受けられる場合があります。

福智の風

▶長野県で震度5強…世界中で起こる地震の約10分の1が日本周辺で発生すると言われるほど、日本中どこにいても地震の空白地帯はありません。7月24日は「福智町防災の日」。大雨による災害が発生しやすくなっています。防災対策は災害前の今しかできません。どうか後悔の無いよう、しっかりと対策をお願いします。(日吉)

▶5月末からは蛍の季節。今年は撮影もあり、何度も足を運びました。風が吹いただけで動きを止めてしまうほど繊細な蛍。息をひそめて機会を待つ間は、虫の声や木々の揺れる音が聞こえ、自然と一つになれたような貴重な時間を過ごせました。自然に限らず人や物など、福智町にある多くの魅力を全身で感じていきたいと思います。(田代)



方城盆踊りの輪
撮影日●昭和34年8月頃
撮影場所●方城

方城の盆踊りで口説きとしてうたわれていた「方城非常唄」。事故の犠牲者のめい福を祈り、遺族の悲しみを伝える唄も、今では唄える人はほとんどいないと言われています。

昔の写真を探しています!
圓本庁2階広報・広聴係
☎22-7766

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

赤池隣保館句会
池田一步選

掛軸は妻の遺作や花菖蒲
スパイスを一振り利かし夏料理
草取りに化粧直しといふ時間
一番星か、り陶里の宵螢
豪農の今や廢屋螢飛ぶ
折り紙をせがまれ孫に甲虫
吾も何時か八十路半ばや半夏生
万緑に染まりベンチに小休止

池田 駒女
大久保幸子
千手 弘子
熊谷カツミ
小場 妙子
石井 恵子
芳野もと子
水上 翠人

福智町金田公民館俳句教室
岩井鬼童選

肩書を脱ぎて身軽な更衣
麦の穂の波打つ光り功農碑
風薫る週に一度のデイケア
京下駄の音にも気品夏に入る
生きこと念じて滝に打たれけり
光る風洗濯物とたはむれて
雨傘の色とりどりに夏兆す
礼拝を終へ惜春の家族旅
はつ夏の日暮をさそふ鷺の空
母の日に笑顔あふれるお母さん小四

西田 咲笑
加藤きみ子
小野 美幸
桂 啓子
小川 雪
岩井 童子
西田 真美
仲谷 博江
松岡 萬枝
建部三由紀

方城句会
池田一步選

千石峽岩面の濡れて初河鹿
筑紫野を長閑に望む旅路かな
子育てのこつを見せるる燕かな
開かず門花陰広げ棟かな
空の青引き寄せてる木の芽摘み
清澄な朝の司書達風五月
今光れ信号送る螢かな
螢火や特攻兵の悲話をふと
青空も若葉も運ぶ川下り

尾崎 和子
渡邊 一枝
山本恵美子
藤井耿之介
長尾 冨子
杉 フジエ
白石 凡子
倉石 小夜
木村 誠一

ともしび短歌会短歌詠草

たちばなの花の香りに見たせば垣根のなかに白き花咲く
降る雨に小さく揺るるあじさるの花の動きはメトロノームに
生ゴミを覆うネットを嘴で刺さるカラス今朝も来てをり
露をわけ真竹筍折り帰り枯枝で煮る裏庭の朝
家毎に花を咲かせて穂やかに暮してゐるらしシャッターの街
子供から「おとぼけさん」と名をもらう余生はゆつくり生きてゆきたし
シャンブーの香りをも一度嗅ぎたしと幼なき曾孫に類よせてるる
宮の杜神木銀杏に若葉萌え青空に昇る龍のごとしも

越智 早苗
村上 美幸
福田キヨ子
白石 清和
三村 和子
桑野 昭子
白石 信子
福田 昌